

さくらっこ

平成30年5月10日(木) No. 4

発行者 校長 佐藤千昭

運動会に向けて

ゴールデンウィークが終わり、校舎には子どもたちの元気いっばいな声が戻ってきました。5月19日(土)に行われる運動会の練習がいよいよ本格的に行われています。7日(月)の2校時目には、初めての全体練習を行いました。紅白に分かれての応援合戦～玉入～紅白対抗リレーを通して行いました。運動会に初めて参加する1年生11名も、緊張しながらも5・6年生に教わりながら一生懸命取り組んでいました。今日から毎日学年ごとの練習や全体練習を繰り返し行い、19日の本番では保護者の皆様・地域の皆様・ご来賓の皆様にご感動していただける演技をお見せしたいと思います。





今週は火曜日、水曜日と雨の日が続き外で練習ができませんでした。今日は体育館でよさこいの練習を行いました。室内での練習のためどうしても動きが制限されてしまいます。でも子どもたちは元気いっぱいです。ここでも6年生がリーダーシップを発揮しています。本当に頼りになる6年生20名です。

○「あいさつ」を広辞苑で引くと①禅家で問答を交わして相手の悟りの深浅を試みること②うけこたえ。応答。返事等7つもの意味が記載されています。人が社会生活を送る中で、「あいさつ」は、最も基本的なことで最も重要です。以前勤務していた学校の昇降口に「あいさつは心と心をつなぐ贈り物」という掲示板が掲げられていました。

あ・い・う・え・お が心をつなぐ

「ありがとう」は、感謝の言葉

「いいね」は、共感の言葉

「うれしい」は、信頼の言葉

「えらい」は、励ましの言葉

「おはよう」は、あいさつのことば



※萩本悦久氏著：「みんなで子育て参戦！」（第三文明社）より

新聞記事より

テレビを見て、少年がつぶやいた。「僕も、こんな主人公みたいに偉くなりたいなあ」。それを聞いた祖母が言った。「人として本当に偉いのは、みんなに、『ありがとう』と感謝できる人だよ」少年は、一人で「ありがとう運動」を始めた。自分が起きる前から朝ご飯を用意してくれるお母さん。体操着を真っ白に洗ってくれるおばあちゃん。夜遅くまで働くお父さん……皆にお礼を言うと、家族全員が笑顔になった。少年は、その日の日記に書いた。「僕の毎日は『ありがとう』でできている」。食事の支度をする母、洗濯をする祖母、職場の父。それを実際には見ていなかったとしても、感謝の気持ちを持つと、見えなかった、見逃してきた大切なものが見えてくる。**感謝は、自分と周囲の人の心をつなぎ、豊かにしてくれる。**